

講義名	中国語B(グローバル)					授業形態	
担当教員	蘭 梅	開講期・曜日・時限		後期 木曜日 5時限			
		単位数	2	履修開始年次	1年生	ナンバリング・コード	CHI122

主題と概要

当校授業はグローバル・カタパルツ・プログラム(GSP)学生を対象とした「中国語Ⅰ」です。「読む・書く・話す・聞く」の4技能をバランスよく学び、中国の基礎を身につけていくことを目標とします。毎年、授業では授業に中国語を学ぶための教材のトピックをおこなっていきます。また、GSPコースの中国語授業は一年以内に「日本(中国語検定) 4級合格を目指すような目標もあるのですが、やハードな授業ではないので安心して学べます。」というように、初級から中級のレベルで進めていきます。「中国語Ⅰ」、「中国語Ⅱ」、どちらからでも1回欠席をしてしまいますと、次回以降の学習に支障をきたす恐れがありますので十分注意してください。

到達目標

中国語検定準4～4級に合格することです。

4 技能に関する到達目標

聞く：平易な日常会話を聞き、内容を理解できるようにになる。
話す：短文の質問と受け答えができるようになる。
読む：200字以内の平易な内容の中国語を理解することができるようになる。
書く：基本文型を応用して、簡単な自己紹介文を書くことができるようになる。

提出課題

毎回の授業時に、学習内容の理解状況を確認するため、トレーニング用のプリントの提出をもらい、次回にフィードバックを行います。また、毎週宿題のプリントも配布します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

提出した課題については、解説を行った後、受講者に自身の結果について確認させます。
最後に、受講者に共通する懸念点について、重点的に復習をします。

評価の基準

本講義の評価基準は毎回の講義の受講態度と提出物、小テスト及び中間テストと期末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。
具体的な割合は：
平常点（授業中の受講態度、課題の提出、小テスト）20％
中間テスト30％、期末試験50％
原則として授業に5回の欠席以上の場合は失格とします。

以上の記載については初回の講義の際に、教室で詳しい説明を行います。

履修にあたっての注意・助言他

外国語の授業は実践的なものなので、声を出すことをいとわず、活発な取り組みを期待します。
授業中の積極的な態度は大いに評価し、教科書の不携帯はマイナスポイントとなります。
また、GSPクラスでは夏休みや春休みの課題の提出状況も評価の対象となりますので注意してください。

教科書

・発音重視！中国語初級マスター22

阿部慎太郎・紅粉芳恵・蘭梅

金星堂

2500

[illegible]

参考図書

なし

その他

授業計画

- | | | |
|---------------------------|---|--------|
| 1) 発音練習 2) | 発音練習2 数字・セリフを聞きながら発音の練習をすること | |
| 予習内容: | 数字1～10の発音と2)の発音の練習をすること | (120分) |
| 復習内容: | 発音練習2の発音を聞きながら発音の練習をすること | |
| 2) 発音練習 3) | 発音練習3 数字・セリフを聞きながら発音の練習をすること | |
| 予習内容: | 数字1～10の発音と3)の発音の練習をすること | (120分) |
| 復習内容: | 発音練習3の発音を聞きながら発音の練習をすること | |
| 3) 第1課 自己紹介をする | 第1課 自己紹介をする | |
| 予習内容: | 本文の内容を理解し、音読の練習をすること | (120分) |
| 復習内容: | 本文を音読し、暗記をすること、総合課題を完成すること | (120分) |
| 4) 第2課 旅行をする | 第2課 旅行をする | |
| 予習内容: | 本文の内容を理解し、音読の練習をすること | (120分) |
| 復習内容: | 本文を音読し、暗記をすること、総合課題を完成すること | (120分) |
| 5) 第3課 誰彼を知る | 第3課 誰彼を知る | |
| 予習内容: | 本文の内容を理解し、音読の練習をすること | (120分) |
| 復習内容: | 本文を音読し、暗記をすること、総合課題を完成すること | (120分) |
| 6) 第4課 家族構成を調べる | 第4課 家族構成を調べる | |
| 予習内容: | 本文の内容を理解し、音読の練習をすること | (120分) |
| 復習内容: | 本文を音読し、暗記をすること、総合課題を完成すること | (120分) |
| 7) 第5課 スクール生活を調べる | 第5課 スクール生活を調べる | |
| 予習内容: | 本文の内容を理解し、音読の練習をすること | (120分) |
| 復習内容: | 本文を音読し、暗記をすること、総合課題を完成すること | (120分) |
| 8) 前半総復習(第1～5課)と後半チェックテスト | 前半総復習(第1～5課)と後半チェックテスト | |
| 予習内容: | 第1～5課の本文を音読し、リスニングを復習すること | (120分) |
| 復習内容: | 音読テストチェックテストの結果を見直すこと、第1課～第5課の総合課題を完成すること | (120分) |
| 9) 第6課 待ち合わせをする | 第6課 待ち合わせをする | |
| 予習内容: | 本文の内容を理解し、音読の練習をすること | (120分) |
| 復習内容: | 本文を音読し、暗記をすること、総合課題を完成すること | (120分) |
| 10) 第7課 機内販売をする | 第7課 機内販売をする | |
| 予習内容: | 本文の内容を理解し、音読の練習をすること | (120分) |
| 復習内容: | 本文を音読し、暗記をすること、総合課題を完成すること | (120分) |
| 11) 第8課 SNSで連絡を取る | 第8課 SNSで連絡を取る | |
| 予習内容: | 本文の内容を理解し、音読の練習をすること | (120分) |
| 復習内容: | 本文を音読し、暗記をすること、総合課題を完成すること | (120分) |
| 12) 第9課 通学路を知る | 第9課 通学路を知る | |
| 予習内容: | 本文の内容を理解し、音読の練習をすること | (120分) |
| 復習内容: | 本文を音読し、暗記をすること、総合課題を完成すること | (120分) |
| 13) 第10課 前向きの旅をする | 第10課 前向きの旅をする | |
| 予習内容: | 本文の内容を理解し、音読の練習をすること | (120分) |
| 復習内容: | 本文を音読し、暗記をすること、総合課題を完成すること | (120分) |
| 14) 第11課 趣味の話をする | 第11課 趣味の話をする | |
| 予習内容: | 本文の内容を理解し、音読の練習をすること | (120分) |
| 復習内容: | 本文を音読し、暗記をすること、総合課題を完成すること | (120分) |

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア: PBL（課題解決型学習）	○	イ: 反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ: ディスカッション、ディベート	○	エ: グループワーク
オ: プレゼンテーション		カ: 実習、フィールドワーク
キ: その他（A・L型であるけれども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

外国語を用いて「人と円滑なコミュニケーションをとることができる」資質・能力を育み、商学部生に求められる「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」・経済学部生に求められる「人間、社会に関するこれまでの学問的成果の基礎」・人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といった現実社会の様々なテーマ」に習熟し「コミュニケーション能力」の育成を目指します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

本講義では基本的にICT活用として、教室に備えているプロジェクターを使用し、音声はiPadとコードレススピーカーを使用します。文法説明や課題の答え合わせなどについてはすべてBigpadやプロジェクターで行います。また、QuizletやKahootなどのアプリケーションを利用して検定問題の単語及び文法についての習得状況の確認を行います。

実務経験の有無及び活用

備考

この科目は「中国語A（グローバル）」とリレー形式で行うため、学習者の習得状況により授業進度の調整を行うことがあります。